

# 平成29年度 事業計画書 活動予算書

～事業期間～

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人

地域ひといき

理事長 小林 聖司

2017/05/31

# 平成 29 年度 事業計画書

特定非営利活動法人 地域ひといき

## I 事業の実施方針

- ・ 保育所事業では新しく開園した事業所内保育所『大塚わくわく園』の安定した経営に全力を投入する。また、『ほっと☆ひといき』で実施していた一時保育事業を大塚わくわく園に統合して、経営のスマート化を実施する。
- ・ 学童児支援事業の生活困窮者向け学習塾『サンライズ』については前年度まで『大塚いきいき園』として使用をしていた場所を中心として活動を継続し、子どもの貧困対策の一助とする。また、夏のイベントでの小学生キャンプは希望する声が多い場合は継続して実施する。
- ・ 夜間養育事業では代表者の自宅での実施という側面上、利用率に関わらず安定して運営できており、今年度も継続して実施する。今年度は養育者が里親認定も受けており、行政とも連携を加速してファミリーホーム事業についても準備検討を開始していく。
- ・ カウンセリング事業は主に無料での相談という側面が強いことから『大塚わくわく園』での育児支援の一環として統合し、事業としては一旦休止する。
- ・ 育児知識等啓発事業では『大塚わくわく園』で実施される保護者勉強会を一般にも公開して啓発を拡大する。また、高槻・魂の声聴き隊講座、高槻・子どもたちの家運営講座、各種親の会など、育児技術に関しては大塚わくわく園の運営が落ち着いて以降に啓発を拡大していく。また、高槻市保健所とイクメン講座について協働を行い、啓発活動を実施する。
- ・ 集い場所の提供事業は拠点を『ほっと☆ひといき』から『大塚わくわく園』へと移転、市内の児童支援公益活動団体にレンタルスペースとして無料貸出しをしたり、個人での利用、ママ会やサークルなどの利用を増やしていく。無料貸出しという側面から事業としての会計は地域子育て支援活動の一環として『大塚わくわく園』へ統合し、経営のスマート化を実施する。
- ・ 育児用品リサイクル事業では活動者支援者の確保を目指していく。事務所倉庫には多くの物品もあり、効率よくリサイクルを行い、地域の子育て世帯の役に立つようにしていく。
- ・ 育児支援員仲介事業ではイベント時の支援員仲介を継続して行ない、家庭からの要請があればそれにこたえていく。また、ご家庭のニーズに合わせて柔軟に対応出来る育児支援員であるという事を効率よく広報していく。

## II 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

※各事業の収支詳細は予算書に記載

#### (1) 保育所事業

##### i) 大塚わくわく園(月極・一時・病後児保育)

【内容】 保育に欠ける乳幼児を預かり、家庭に代わって保育を行う。

【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-30-6『大塚わくわく園』

【実施日時】 全ての曜日 7:00~20:00

【事業の対象者】 保育に欠ける乳幼児

【収入】 89,128,920円

【支出】 89,128,920円

#### (2) 学童児支援事業(学習塾、各キャンプ、フリースクール)

【内容】 貧困家庭の低料金塾『サンライズ』を学童児支援として実施する。  
また、夏休み期間の小・中学生キャンプを実施する。(希望者あれば)  
フリースクールについてはその担い手を探す。

【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-8-5『ほっと☆ひといき』(学習塾等)  
近畿圏及び周辺(小キャン)、富士登山(中キャン)

【実施日時】 毎週火・金曜日17:00~21:00(学習塾)  
7月~8月の平日の1泊2日(小・中学生キャンプ)  
平日10:00~16:00(フリースクール)

【事業の対象者】 就学後から高校生までの児童

【収入】 620,000円 【支出】 742,000円

#### (3) 夜間養育支援事業

【内容】 夜間の間、児童を養育困難な家庭、緊急時に養育出来ない家庭に対して、  
無料または低料金にて児童を預かり家庭に代わって養育し、必要な場合は  
併行して家庭機能の回復に向け支援する。また、行政と調整したうえで、  
社会的養護の子どもたちについても受け入れを進めていく。

【実施場所】 大阪府高槻市北部地域『高北のびのび園』

【実施日時】 20:00~翌7:00

【事業の対象者】 要保護児童及び要養育支援家庭

【収入】 100,000円 【支出】 62,500円

#### (4) カウンセリング事業

【内容】 『大塚わくわく園』の子育て相談(無料)として事業としては一時休止

【実施場所】 『大塚わくわく園』

【実施日時】 終日(予約制)

【事業の対象者】 心理的ケアが望ましいと思われる施設利用者及びその家庭、  
並びに施設周辺地域に暮らしカウンセリングを希望する者。

【収入】 0円 【支出】 0円

(5) 育児知識等啓発事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』保護者様勉強会を一般にも公開、また、保健所との協働でイクメン講座を実施。代表著書「仕事も育児も大切なパパに送る本」も随時販売を行う。また、状況に応じて高槻・魂の声聴きたい講座、高槻・子どもたちの家講座などを行う。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』を中心として、高槻市南東地区
- 【実施日時】 年間5講座程度
- 【事業の対象者】 高槻市内に住む保護者や子どもで講座参加を希望する者。
- 【収入】 123,760円 【支出】 73,000円

(6) 集い場所の提供事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』の地域支援交流室を無料で貸出し、市内の公益活動団体やママ会、サークルなどに貸し出して、様々な集い場所を作る。また、土日限定の子ども連れで来れるカフェや子ども食堂を出来れば実施する。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』
- 【実施日時】 通年（7：00～20：00）※但し、法人で利用しない日に限る。
- 【事業の対象者】 高槻市南東地区に住む保護者や子ども。
- 【収入】 0円 【支出】 0円

(7) 育児用品リサイクル事業

- 【内容】 必要のなくなった育児用品を回収、売却によりリサイクルを行う。
- 【実施場所】 インターネットオークション
- 【実施日時】 通年終日
- 【事業の対象者】 育児用品を必要とする者
- 【収入】 50,000円 【支出】 54,000円

(8) 育児支援員仲介事業

- 【内容】 育児支援員が必要な場所に育児支援員を仲介する。また、市内の家庭からの要請のみならず、イベント時の託児という形での対応も行う。
- 【実施場所】 高槻市内全域
- 【実施日時】 通年終日
- 【事業の対象者】 高槻市民
- 【収入】 10,000円 【支出】 10,000円